

議会だより  
チェック・アンド・バランス

# おがわ

特集

## 新町長にインタビュー

## 西中改築工事またも工期延長

町民の声を町政に 10 人が一般質問 P.6

No. **72**  
2014.9.1

第 66 回小川町七夕まつり



## 改築工事



開催日  
7月14日

臨時議會

総質疑数  
32

責任の所在は

**問** 本体建築工事の請負契約を変更しない理由は。

**答** 約款の21条により、請負業者に責がある場合は、契約変更ではなく、工期延長に伴う責任を問うこととなります。

今回、電気・機械については、本体の建築工事の遅れが原因ということ、その責はなし。建築については、責ありということとで区別をしています。

## 遅れた原因は

**問** 一度目の変更では、事故扱いによる工期延長だった。今回の遅れた理由は。

また、仮設校舎（プレハブ）の費用は、どこが負うのか。

**答** 遅れた理由は、コンクリートの型枠職人や配筋工が不足し、手配が難しかったためです。仮設校舎の費用は、本体建築工事請負業者に請求します。

ペナルティーを科すことは

**問** 違約金・指名停止など、建設事業者に対して延滞のペナルティーを科すことは。

**答** 工事がすべて完了したのちに、町の約款に基づいて科していきます。

## 国庫補助の交付は

**答** 過去の事例により「交付されるだろう」ということで、遅延の理由と責任がどこにあったのかを明らかにし、公文書として残します。

町民への説明は

**問** 町としての説明責任と対応は。

**答** 生徒・保護者・地域の関係者には、教育委員会より説明していきます。また、具体的にどのような形になるかは未定ですが、町民の皆さんにもきちんと説明したいと考えます。

## すたむちゃんの ひと☆メモ



今定例会では、国の税制改正に伴う小川町税条例の一部改正など専決処分の承認を求める議案や、平成26年度一般会計補正予算を含めて5件、人権擁護委員候補者の推薦1件を審議し、すべて可決・同意・承認しました。

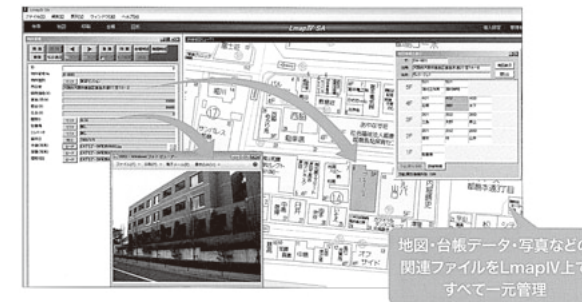
一般質問は10人が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

## 《主な質疑》

### 地域による見守り支援体制が強化

問 地域支え合いマップとは。

答 独居老人・配食サービス利用者・緊急連絡システム利用者・災害時要援護者等、該当される方々をセンリンの地



地域支え合いマップの一例

# 平成26年度 補正予算

図上に配したものです。当該地区の民生委員をはじめとした方々に印刷したマップを提供し、情報の共有をしていただきます。データは年1回の更新を予定しています。

### 大河公民館の耐震診断

問 公共施設のアセットマネジメントとの整合性は。

答 今年度、アセットマネジメントの基本方針を策定し、来年度から具体的に進みます。大河公民館も対象となっているので、今回の診断結果も検討材料になるものと考えています。

### 発電機3台を購入

問 災害用資機材の詳細は。

答 町内の酒蔵3社と災害時における井戸水の提供に関する協定を結び、有事の際に使用します。防災倉庫で保管します。

### ユネスコ無形文化遺産登録に向けて

問 和紙資料活用事業費の詳細は。

答 小川和紙資料館で所蔵されていた資料5600点を購入します。昭和初期に漉かれた細川紙をはじめ、今回、ともにユネスコ無形文化遺産に登録を申請中の本美濃紙や石州半紙もあります。また、和紙を使用した全国各地の加工品や民芸品、紙漉きに用いる道具類も含まれています。貴重な資料の数々は、今後、和紙体験学習センターで展示する予定です。

### 都市ガスに切り替え

問 庁舎大規模改修の詳細は。

答 主に、空調設備の改修となります。個別空調機併用方式とし、場所を絞ってセパレート的に使用できるようにします。また、今回の改修で熱源を都市ガスに切りかえます。工期は9月上旬から来年1月末を予定しています。



### すたむちゃんのひとひめも

※公共施設におけるアセットマネジメントとは一定の行政サービスを維持しつつ、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用などを行ない、長期的な財政支出の削減を図る取り組みです。



購入する資料の一部



細川紙製の青森ねぶた

# 条例の改正

## 《主な質疑》

### 税条例の一部改正

問 法人税割の税率が100分の12・3から9・7となるが、減収分は。

答 平成25年度の実績で試算しますと、平成27年度分は330万円の減で、平成28年度分は2000万円の減となります。

問 減収となった額は、すべて歳入予算に地方交付税として補てんされるのか。

答 すべて補てんされるかは、承知していません。

問 軽自動車税が引き上げられることで、その増収見込み額は幾らになるか。

答 350万円程度の増収となります。

問 原付自転車は、税額が1000円から2000円となり、負担がふえるが、トラックなどの特殊自動車は、地方自治体の裁量で税率が決定できると聞いたが、軽減については考えなかったのか。

答 近隣の町村を加味して対応しました。

問 平成14年以前に購入された軽自動車は、平成28年度から20%重課されるのか。

答 軽自動車においてもグリーン化を進める観点から、最初に登録されてから14年目を迎える4輪車等については、平成28年度から標準税率に対して、おおむね20%の重課が行なわれます。

## 視察をふまえての調査研究報告

調査研究テーマ 和紙を活用した町の活性化策について

## 議会から和紙職人への支援など2項目を提言！

岐阜県美濃市を視察（今回の視察研修は、議員総意により全委員会合同で行ないました）

### 美濃市 DATA

人口2万2,089人（平成26年6月現在）  
日本の中央に位置し、天下の名川長良川や緑濃い山々など豊かな自然と1300年の伝統を誇る「美濃和紙」、中心市街地には、江戸時代に築かれた伝統的な建造物が多く残り、歴史的景観が保たれるなど伝統文化が息づくまちです。

今回、石州半紙（島根県浜田市）、本美濃紙（岐阜県美濃市）、細川紙の和紙産地が一括して日本の手漉き和紙技術として、ユネスコ無形文化遺産登録の候補となったことを受け、上記の調査研究テーマのもと、美濃市の和紙産業に対する取り組みを視察した。

和紙の需要減少や後継者育成、道具不足等の問題がある中で、この貴重な伝統技術を保存・伝承し、町の活性化につなげていくことは、当町のみならず美濃市においても共通の課題とのこと。

視察の結果、以下を提言し「和紙のふるさと 小川町」この言葉が国内外に知れ渡るよう最大限の努力を期待するものである。

提言① 伝統技術を保存・伝承していく方策として、手漉き和紙職人や使用する道具類を作る職人を町職員として雇用し、また、原料となる楮やトロロアオイを地場産で賄

い生産者のなりわいにつなげる支援をすること。

提言② 町の活性化につなげる手段として、核となる施設に埼玉伝統工芸会館の活用を図るとともに、和紙工・和紙商と連携した新たな商品開発、和紙製品を積極的に使用しPRに励むこと。有識者を含む検討委員会を立ち上げ、あらゆる角度から検証し、国際的祭典等も視野に入れた展開を図ること。





## 審議議案と議員の賛否

議員名	柳田多恵子	井口亮一	高瀬勉	島崎隆夫	柴崎勝	山口勝士	高橋さゆり	松本修三	金子美登	松葉幸雄	大戸久一	根岸成美	宮澤幹雄	大塚司朗	戸口勝	小林一雄	審議結果
議案名																	
6月定例会																	
専決処分の承認(税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認(都市計画税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認(平成26年度一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
税条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第1回臨時会																	
小川町立西中学校改築工事(電気設備工事)請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小川町立西中学校改築工事(機械設備工事)請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※ ○は賛成 ×は反対  
議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

## 町民の声を町政に

### 一般質問席

#### 町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会日よりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

#### 質問 「日常生活圏 ニーズ調査」は

#### 質問 地域で支えるためには、地域における医療体制の整備も、介護と一体になつて重要な取り組みと考えるが。

**答弁** 福祉介護課長 2000名を対象に実施しました。地域の課題・ニーズ、人口推計と必要になるサービス等を把握・分析していきます。

#### 質問 来年度からの保険料の見直しは。

**答弁** 福祉介護課長 国の推計では5期から6期への伸びが約15%となつています。同様な伸び率と考えると、4360円から5000円となります。

#### 質問 在宅医療と介護の連携は重要な位置づけになります。当町では、医療と介護の連携は、退院時などに個別ケースごとになされていますが、システムとしては確立されていません。比企医師会と連携を図る方向で、現在、比企医師会と管内市町村との打ち合わせの開催を進めています。

**答弁** 福祉介護課長 在宅医療と介護の連携は重要な位置づけになります。当町では、医療と介護の連携は、退院時などに個別ケースごとになされていますが、システムとしては確立されていません。比企医師会と連携を図る方向で、現在、比企医師会と管内市町村との打ち合わせの開催を進めています。



みんなで支え合う地域の介護に

## 福祉・医療

### 介護保険見直しに向けてしっかりとした取り組みを 比企医師会と連携を図る方向です



山口勝士 議員

空き家対策、さらなる具体的施策を

#### 質問 高齡化、人口減少の課題の中で、現実に空き家がある

中で、現実に空き家がある

#### 質問 環境保全課長 先進事例では、市とシルバー人材センターが提携し、建物の所有者がシルバー人材センターと契約する形になつていて、契約期間等によつては割引制度もあるとのこと

**答弁** 環境保全課長 先進事例では、市とシルバー人材センターが提携し、建物の所有者がシルバー人材センターと契約する形になつていて、契約期間等によつては割引制度もあるとのこと

## 町政

### スタートする松本町政の進路は

住民の声を反映した町政運営を目指します

松本町長のご活躍を期待いたします！



高瀬 勉 議員

#### 質問 新町長のもとに策定が図られるであろう第5次総合振興計画は。

#### 質問 第4次総合振興計画の最終年度を来年度に控え、今年度は、その評価のための準備と第5次総合振興計画策定に向け、住民意識調査等を行ないます。

#### 質問 雇用の確保や質の向上は、行政の力だけではかない。地元企業との連携・協力体制の充実

**答弁** 町長 現行の第4次総合振興計画の最終年度を来年度に控え、今年度は、その評価のための準備と第5次総合振興計画策定に向け、住民意識調査等を行ないます。

#### 質問 町長 町商工会をはじめ、関係機関や地元企業等と今まで以上に、連携を図ります。企業誘致については、引き続きホンダ関連企業を中心に考えています。

#### 質問 町観光協会のあり方は。

**答弁** 町長 町行政が担っている体制から、単独運営、もしくは他団体に託す等、検討します。

#### 質問 当町の子育て環境の課題

#### 質問 町長 町行政が担っている体制から、単独運営、もしくは他団体に託す等、検討します。



未来を担う子どもたち



公園整備

# 仙元山周辺整備の充実を

四季折々の花木の植栽を検討します

町の観光スポットを線で結ぶ総合的整備を



松本修三 議員

質問

見晴らしの丘公園は平成元年開園以来、町内外多くの人々の憩いの公園として親しまれており、この公園の周辺素材とリンクさせるために、さらなる整備の充実に、四季を通して楽しめる花木の整備で、花の名所となるような植栽を進めるべきでは。

答弁

産業観光課長 眺望に支障を来さない四季折々の花木の植栽を検討していきます。

質問

さらに利用しやすい公園にするために、下里地内までの林道の延伸と各遊歩道の整備を望むが。

答弁

産業観光課長 この公園は、



公園内に完成した四阿

「森づくり課」へも相談していますが、適した補助金が見つかりません。遊歩道整備は進めていきます。

質問

見晴らしの丘公園からの眼下に広がる町並みの夜景と星空は感動的なものである。年に数回の限定夜間開放実施は。

答弁

産業観光課長 道路状況等夜間の車の乗り入れが心配されますが、指定管理者とも協議し、地域貢献の一つとして、安全に事業ができないか検討していきます。

改革への勇気を持って素早く行動すること



井口亮一 議員

町政

## 町長の経営理念・政策は

広く住民の意見を聞いていきたい

質問

小川町の「経営トップ」が交代し、松本町政がスタートするに当たり、「新経営トップ」に経営理念及び基本姿勢、また政策などについて聞きたい。

答弁

町長 住民のお願いとして、1人1人が幸せを求めることは当然のことと考えます。それらが、

質問

町民が今、何を求め、何を望んでいるのか。その思いを共有し、人々とともに協働してそれぞれの地域の独自性を尊重し合い、全町の調和を保ちつつ満足度の高いサービスを提供するために、よく聞き、よく

答弁

町長 議員のおっしゃるとおり、よく聞き、よく学び、改革への勇気を持って素早く行動することが大切だと考えます。ただし、行動の裏づけとなる条件を1つずつクリアしていなければなりません。議員の皆様にもご協力をお願いいたします。

町長！町長！町長！あっと驚く施策を期待してますよお

子育て・女性の登用

## 若年層の定住促進が急務だが

積極的に取り組みます



高橋さゆり 議員

質問

当町は平成26年4月1日現在の埼玉県総務部統計課の人口推計によると、県内で人口減少率が小鹿野町・横瀬町に次ぐ第3位である。若年層の定住促進が急務だが、どのように考えているのか。

答弁

町長 危機感を持っています。雇用機会の確保と拡大が重要だと考えており、企業誘致と通勤通学における公共交通機関の利便性向上にも取り組みたいと思います。また、子育て世代の負担軽減や新規に当

質問

女性の登用とは、具体的などのような形で女性の活動の場を推進していくのか。

答弁

町長 当町役場の管理職について、積極的に女性を登用します。現在、課長・主幹級職員のうち、女性職員は49人中10人と低い比率となっています。このことから、女性を管理職に登



庁舎内で働く女性職員

用し、その力を十分に発揮していただくことにより、庁内活性化をさせたいと思います。幅広い知識と的確な判断能力を兼ね備えた職員の人材育成に取り組む考えです。

その他の質問

- ◎子育て支援
- ◎女性を守る



初登庁時の町長あいさつ



交通整備

# デマンドバス(タクシー)運行は住民の声

公聴会を開きます



柳田多恵子 議員

2030年には高齢化率44.5%、  
少子化率6.2% ほんとに急務ですよ

質問

町長の公約に  
少子高齢化対  
策と子育て支援は急務  
とある。同意見だ。調  
査すると、各自治体で  
はさまざまな子育て支  
援策を進めている。産  
後鬱の防止策として新  
生児一時預かり、産前  
産後ヘルパー派遣事  
業、1対1で同じ保健  
師が就学前まで相談に  
乗る事業を行なってい  
る自治体もあるが。

答弁

子育て支援課  
長 「こんに  
ちは赤ちゃん事業(全  
戸訪問)を行なってい  
ます。ほかは難しいと  
考えます。

質問

高校生までの  
医療費無料化  
は。

答弁

町長・子育て  
支援課長 現  
在、滑川町・新座市、  
越生町が実施。朝霞市  
についても拡大予定で

答弁

町長 総合的  
なことを勘案  
し、どのような  
対策が打てるか  
関係各課と相談  
していきます。

質問

デマン  
ドバス  
(タクシー)の  
運行は、長年の  
住民運動で実現  
を求める声や、  
私たちが行なっ  
た町民アンケー



寄居町乗り合いタクシー

質問

給食費の無料  
化は。多子世  
帯へ助成を行なってい  
る自治体もある。せめ  
て消費税の引き上げ  
はしないなどできない  
か。

答弁

町長 さまざ  
まな調査結果  
を通じて検討しまし  
た。他の自治体の支援  
策や内容について、さ  
らに情報収集・分析を  
行ないます。また公聴  
会を開きたいと考えま  
す。

もしかしてだ〜先頭走  
るの怖いんじゃないの〜♪



戸口 勝 議員

女性の登用

## 女性の活躍への体制は

取り組みは十分ではないが推進したい

質問

今後の企業誘  
致では、女性  
が働きやすい業種を誘  
致するのが得策と考  
える。またインターチェ  
ンジ周辺をはじめ、2  
54号バイパス、その  
迂回路の沿道に商業施  
設の進出を促し、働く  
場の促進・開発をする  
べきと考えるが。

答弁

町長 企業誘  
致として、呼  
び込める企業であるな  
らば取り入れていき  
たいと思います。

質問

女性にとって  
どうすれば社  
会進出が進むのか、働  
く女性の一人として考

質問

「学力を上げ  
るため」と全  
国県内各所で始まって  
いる土曜授業、また国  
の小中一貫校という新  
たな取り組みは。

答弁

教育長 月1  
回程度の土曜  
授業をして、学力が付  
きますか。やめたもの  
を始めるなど、ふらふ  
らしているのは教育と  
は言えません。土曜授  
業は、安易に考えたく  
ありません。小中一貫  
校については、他に先  
駆けて導入することは  
考えていません。

質問

埼玉県  
の学力  
レベルは国  
の平均より下だが、当  
町の位置は。

答弁

教育長 当町  
は県内で平均  
レベルです。

小中学生の  
学力は

答弁

町長 素早く  
立ち上げるよ  
う、指示します。



金子美登 議員

農業

## 「農地中間管理機構」への考えは

農地の担い手への集約のほうがよい

食の危機は目前ですよ！

質問

昨年12月、農  
林水産省が次  
の4つの改革を公表し  
た。



子孫に美田を残したい

①農地中間管理機構  
の創設 ②経営所得安  
定対策の見直し ③水  
田フル活用と米政策の  
見直し ④日本型直接  
支払い制度の創設。

以上4点のうち「農  
地中間管理機構」につ  
いて聞きたい。  
改革の背景には、基  
幹的農業従事者のうち  
65歳以上が61%、50歳  
未満は10%。農地の半  
分は耕作放棄地であ  
り、今後も拡大の可能

性が大。農業の担い手  
がない。集約の半数  
以上は5〜10年後に生  
産力激減との予測があ  
る状況の中で、この「農  
地中間管理機構」に対  
する町の考えは。

答弁

産業観光課長  
町への説明は  
6月初めにありまし  
た。農地の貸し借りは  
人・農地プラン等によ  
り、地域の合意形成等  
がなされた区域の中の  
希望者として想定され  
ています。この制度で  
行なう基盤整備事業に  
おいては、補助金以外  
の部分の機構が負担  
し、その部分の金額を  
貸付年数(6年以上)  
に応じ、借地代に乗  
せて回収するもので、一  
般的な基盤整備事業費  
では、借り受け者の負  
担が高額となるため、  
農業資金の融資を受け  
られる土地改良事業と  
合わせ、農地の担い手  
への集約のほうがよい  
と考えています。



授業風景



少子化対策

# 人口減と少子化対策は

町の魅力を積極的に発信します

西中、人口減・少子化対策  
しっかり頼むよ



大戸久一 議員

との喜び、誇りとなっ  
ていることと思われま  
す。

**質問** この町で出会  
い、恋をし、  
結婚。自然と緑豊かな  
この町で子育て、家族  
愛を育み充実したライ  
フスタイルを楽しむ。  
そんな日々をイメージ  
させるよう  
な、各種メ  
ディア利用の  
PR活動を展  
開してほしい  
が。

**質問** 人口減と少子  
化対策は、当  
町だけにとどまらず、  
全国的な問題にもなっ  
ている。当町の合計特  
殊出生率は、

**回答** 子育て支援課  
長 平成6年  
は1・45、平成24年は  
0・78です。

**質問** 小川町で生ま  
れ育ち、この  
町に住み続けたい。そ

**回答** 学校教育課長  
田植えからお  
にぎりをつくっての収  
穫祭、お年寄りの協力  
を得ての「むかし遊  
び」、子供会ではサツ  
マイモの栽培体験、中  
学校では手漕ぎ和紙で  
みずからの卒業証書を  
すく等を行なってお  
り、この町で育ったこ

**回答** 豊かな自  
然と豊富な歴  
史・文化を観  
光資源として  
最大限活用し  
ながら、武蔵  
の小京都や和

**回答** 教育  
長 ほ

**回答** 教育  
長 ほ



地域への子育て支援を

紙のふるさと小川町の  
魅力を積極的に発信し  
ていきます。さらに町  
のホームページを全面  
リニューアルし、情報  
発信力の強化に努めま  
す。

その他の質問

- ◎ ボランティア作業に  
理解を
- ◎ 健康長寿サポート事  
業の今後は
- ◎ 西中改築工事につい  
て

新町長のもとで未来に希望  
の持てる町へ



島崎隆夫 議員

町民憲章及び条例

## 町民へ伝わり理解されていると思うか

そのように思います

**質問** 町民憲章の伝  
え方は、

**回答** 政策推進課長  
各地区集会所  
や公民館に掲額。ガイ  
ドマップやホームページ  
への掲載などです。

**質問** 32年たった  
今、もう一度  
伝え方を考えて考え  
てほしいが。

**回答** 町長 改めて  
考えます。

**質問** 条例制定や改  
正時の伝え方  
は。

**回答** 政策推進課長  
役場前の掲示  
板に公示。必要に応じ  
て広報等で周知を図り

ます。

**質問** どちらも積極  
的に伝える努  
力をするべきでは。

**回答** 政策推進課長  
町全体で考え  
たいと思います。

**質問** 職員は内容を  
理解し遂行し  
ているか。

**回答** 政策推進課長  
そう考えます。



庁舎内に掲げられた町民憲章

本年2月の大雪

**質問** 被害状況や対  
応について検  
証し、役場の体制の見  
直しをするべきでは。

**回答** 総務課長 今  
回の体験や対  
応の全てが貴重な資料  
にもなりますので、ご  
指摘のとおり今後の

災害対策に生かしてい  
きます。

公共施設の利用

**質問** 図書館の利用  
率アップへの  
提案①夏場のクール  
シェアを推進しては

②小川町駅に返却ボッ  
クスを設置しては ③  
雑誌を置いてあること  
等を含め、伝えていな  
いことを改めて広報な  
どで知らせては。

**回答** 生涯学習課長  
①検討します  
②難しいと思います  
③行ないます。

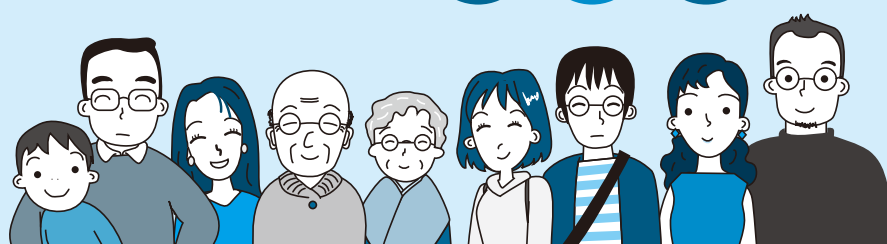
**質問** 栃本親水公園  
の利用者と周  
囲の住民双方への配慮  
について、①水車小屋  
前の水遊び場の管理は

②釣りの管理を漁  
協に申し入れては ③  
利用者へのマナーの呼  
びかけは。

**回答** 建設課長 ほか  
①清掃を行な  
います ②考えていま  
せん ③看板設置など  
です。

# 町民みなさんのひろば

## わたしの ひとこと



議会に関して

きのしたよしゆき  
東小川 木下儀行



議会は、小川町の将来あるべき姿  
のシンボルであり、「要」です。現  
状の諸問題にスピーディーに対応  
し、議案を議決する唯一の機関である  
と思います。いつの時代であろうと、基本は地域住  
民との対話が重要な要素だと思います。住民の意見  
が反映された議会運営がなされることが、町の発展  
に大きく左右されると思います。地域の課題となっ  
ているさまざまな問題（少子高齢化対策・町の活性化  
対策・空き家対策・自主防災組織・振り込み詐欺防止  
など）を行政とともに解決するためには、まずは1  
人でも多くの住民が議会活動に興味を持つことが第  
一步です。広報をインターネットで見させてもらっ  
ています。「傍聴のお知らせ」では、東京まで通勤  
している私には時間帯が厳しいと思います。要望と  
して、土日に議会の開催と同時中継などの導入。動  
画配信で見られるようになれば、もっと多くの人が  
興味を持ち、議会の刷新が可能になると期待します。

空き地の活用法

えんどう ゆ か  
大塚四 遠藤有香



縁あって、小川町に住んで6年に  
なります。夏の暑さと、冬の寒さ  
にやっと慣れてきました。現在、家  
の近くに畑を借りて、野菜をつくっ  
ています。何せ素人がやるものですから、うまくいき  
ません。しかし、畑の仲間の方に教えていただき、  
だんだん楽しになってきました。ご近所の方にお  
話をしましたら「畑を貸してくれるところが近くに  
あれば、やってみたい」とのこと。小川町には貸菜  
園がありますが、場所が遠過ぎます。

小川町中には、あちこち空き地が見受けられま  
す。夏になると草丈が高くなり、草刈りにも一苦労  
されているようです。その対策の一助として「空き  
地を貸します」「貸してください」といったコミュ  
ニティーボードを役場の一角に設けて、利用者の橋  
渡しをしていただけないでしょうか。花を植えたり、  
家庭菜園をする方々が増えれば、町の景色も変わる  
のでは。



# 我が町再発見「豊かな里山と木造校舎」



桜の季節は多くの方が訪れます

小川小学校旧下里分校。木造校舎の分校は、自然豊かな下里の里山の中にあります。

廃校となった分校の桜は今も人気で、桜の季節になると、たくさんの人が花見に訪れます。また昨年からは、アニメの聖地としてファンの方々が日本全国から訪れています。

初めて訪れた人でも、旧下里分校は温かみがあってなんだか懐かしく感じられる場所です。

今では珍しくなってしまった木造校舎は、地域の人たちだけでなく、小川町の大事な財産です。今後も皆さんの憩いの場として、残していきたいと思います。ぜひ足を運んでみてください。



NPO法人 霜里学校 あんどかずひろ 安藤和広



## 議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち①

## 小川消防署の女性隊員に聞く！

小川消防署は、現在 47 名の署員により消防・火災予防・災害防除・救急・救助を専門に行ない、日々小川町民の生命と財産を守っています。本年度から、看護師の経験を持つ消防士の宮下さとみさんが加わり、プラスワンの町民の安全・安心が確保されています。



中央が宮下さとみさん

**Q** 小川署に配属される前は何をしていましたか？

**A** 神奈川県で救急救命士として働き、その後北海道で看護師として働いていました。

**Q** 安全・安心に対するあなたの役割は？

**A** 町民の生命・財産を守るのはもちろんのこと、看護師の経験を生かし、精神的なケアとともに搬送業務を行ないたいです。

**Q** 小川町で、改めて感じたことは何ですか？

**A** 火災時の消防団の力って、すごいなって改めて思いました。もし、いなかったらと思うと……。

**Q** 期待されていることは、何だと思いますか？

**A** 救急において、女性特有の疾患に対する対応や声かけ、さらには子どもたちへの精神的配慮を持って心で接することだと思います。

担当：戸口 勝

## 編集後記

猛暑の夏でしたね。皆様はどのようにお過ごしになりましたか。夏休みやお盆休み等で、日ごろのストレスを解消できたでしょうか。

第2回定例会は、町長選挙があったことから6月24日から始まり、議会日より1ヵ月遅れの発行となりました。

臨時議会では、西中学校の工期の再延長に32の質疑がありましたが、ページ数の制限でほんの一部しか載せることができませんでした。詳しくはホームページで見ることができますので、ぜひ議員がどのような質疑をしたのか、見てください。

編集委員 高橋さゆり



QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます。

## 議会だより おがわ No. 72

小川町議会だより 72号

平成26年9月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地

TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877

<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

### 議会広報発行特別委員会

議長	小林 一雄
委員長	柳田多恵子
副委員長	大戸 久一
委員	戸口 勝
委員	高橋さゆり
委員	島崎 隆夫
委員	高瀬 勉

## 議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

**9月2日(火)** からです

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。